

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 音の空間的制御とその応用展開
2. 研究代表者： 小山 翔一（情報・システム研究機構 国立情報学研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は日常生活や高雑音の環境下において、静音化や音のゾーニングなどに応用可能となる、複数のスピーカを用いた音の空間的制御技術を実現することを目指すものである。

フェーズ1では適応的カーネル補間に基づく音場計測法、カーネル補間による空間能動騒音制御のための適応フィルタアルゴリズムなど、特許出願、IEEE SP magazine の総説論文を含めて、多くの研究成果を創出しており評価できる。

フェーズ2ではフェーズ1で開発してきた基礎技術を更に発展させるとともに実装も目指す計画は妥当である。ただ、実装に関しては大きな装置の中でしか効果が体験できない。自動車内のノイズキャンセルが一つの応用ということであるが、いくつかのユースケースを示して、そのためのマイルストーンを設定することが望まれる。実システムの実装、ならびに実用化に向けてスケールできる技術を開発していくことを期待する。

以上